



自分を大切に生きて

3年生対象「思春期保健講座」開催



思春期の心

「少し手解しているように見える態度をとる
 親と、距離のことで争い、イライラして親を
 叩いたりして、そのすぐ後にベタベタと話をしてくる」

心が親元を離れ自立したいという気持ちと、
 また離れるのが不安だといった気持ちが
 折り重なっているため

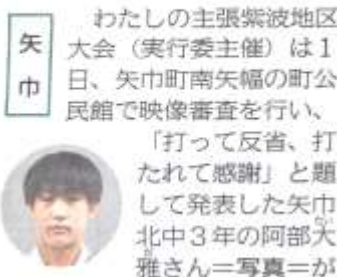
3年生を対象とした思春期保健講座を、今年も白井循環器内科医院副院長の白井由紀子先生をお招きし開催しました。先生は、日本における10代の中絶率の高さから、思春期での性指導の重要性を強く感じてきたと話され、専門的な立場から思春期の心と体の変化や望まない妊娠等について、ストレートに生徒に伝えて下さいました。生徒の皆さんも、「恥ずかしいことではない。とても大切なこと。」と話される先生の真剣さに引き込まれるように真剣に聞き入っていました。

先生のお話の中で印象に残ったのは、「自分の体を大切にすること。」と「自分の思いだけでなく、相手の気持ちも大切にすること。」でした。様々に揺れ動く中学生にとって、大切な教えになったように思います。

【大会等の結果】

- ◎全日本合唱コンクール岩手県大会
 混声（金賞）、女声（金賞）、男声（銀賞） ※金賞は東北大会出場（9/24 福島市）
- ◎NHK 学校音楽コンクール岩手県大会 金賞 ※金賞は東北大会出場（9/17 宮城県名取市）
- ◎第44回 U16 岩手県陸上競技大会
 男子三段跳び 1位 12m35 相馬大翔 ※1位は全国大会出場（10/21 愛媛県松山市）
- ◎「わたしの主張」紫波地区大会
 最優秀賞 阿部大雅 優良賞 高橋瑠祈愛 ※最優秀賞は県大会出場（9/14 盛岡市）

阿部さん(紫中)紫波地区代表 わたしの主張



最優秀賞に選ばれた。同町と紫波町の5校から6人が出場した。阿部さんは、剣道の恩師にかけられた「一本取られたということは、相手が自分の弱いところを教えてくれたということ。打って反省、打たれて感謝」という言葉をきっかけに、練習方法や考え方を改善。

普段の生活にも生かせると気付き「結果に一喜一憂するだけでは、その先の成長はない」と物事を謙虚に振り返る大切さを説いた。

阿部さんは県大会（14日、盛岡市）に出場する。

他の入賞者は次の通り（いずれも3年）。

▽優秀賞 細川百合菜（紫波三）

▽優良賞 高橋瑠祈愛（矢巾北）

中川明咲（紫波一）

【確認】本校では、原則として、登校時間帯の保護者車両の校地内乗り入れを禁止しています。ただし、怪我や病気等で自力での登校ができない場合を除きます。ご理解とご協力をお願いいたします。